2020年 3月 30日 発 行　通 巻 469号　ISSN1882-9643

JSAF

J-SAILING

JAPAN SAILING FEDERATION

2019 YEARBOOK

NO.115

www.jsaf.or.jp/hp/

45ページ

JSAF

JSAFは新たにビジョンを策定いたしました。2020年度からは、この実現に向けて、会員の皆さまと共に中長期計画を策定および実行計画を推進します。

2020年度 JSAF基本方針

今年度は、TOKYO2020が開催される象徴的な年である。JSAFはその追い風をいかし、加盟する団体が発展して、会員がセーリングの素晴らしさを安心して享受できるための環境構築の支援、および情報展開を推進する。

そのために、JSAFが設定した3つのVision「もっと身近になる」「関わり続ける」「もっと強くなる」を実現すべく、長期目標に向けた具体的活動の第一歩を踏み出す。

セーリングをもっと楽しく
Maximize fun of sailing

もっと身近になる
Easy Access

関わり続ける
Open Community

もっと強くなる
High Performance

【2020年度JSAF実行計画】

1 もっと身近になる（Easy Access）

❶一般の認知・関心の向上
ⓐ マスコミへの積極的情報提供によるメディア露出促進
ⓑ SNS 等を活用した情報のプッシュ配信
ⓒ IT 機器を駆使した新たなレースフォーマット等の検討

❷気軽に始められるモデルづくり
ⓐ 体験セーリングのロールモデル構築
ⓑ 海洋関連イベントへの積極的参加
ⓒ e-Sailing の普及促進

❸ファン拡大を通じた JSAF 会員数増加
ⓐ JSAF 新規会員増加のための各種施策の実施
ⓑ セーリングファンの開拓のためのエコシステムの構築
ⓒ 会員モデルの再構築
ⓓ 会員管理システムのサービス向上

2 関わり続ける（Open Community）

❶より健全なセーリング文化の醸成
ⓐ ガバナンスの強化、社会規範やコンプライアンスの遵守
ⓑ セーリング・スポーツに関わる国際人の養成
ⓒ セーフティ・セーリングの推進

❷海洋教育やマリンスポーツと連携した社会貢献
ⓐ シーマンシップを根付かせるジュニア・ユース教育強化
ⓑ 地域社会との共生を目指した海洋環境保全キャンペーン等の推進

❸普及や強化を担う所属団体の支援
ⓐ 国際ルールの国内における維持及び管理
ⓑ JSAF 主催、および公認 / 後援大会の確実なる成功
ⓒ セーリング・スポーツを支える委員会情報発信の活発化
ⓓ 男女や障がいの有無にかかわらず、ジュニアからグランド・シニアまで継続したセーリング活動の定着促進
ⓔ セーリング・スポーツを支えるサポート企業・団体・会員の開拓

3 もっと強くなる（High Performance）

❶ジュニア世代からの連続性のある強化
ⓐ ジュニア / ユース・セーラーの活動への幅広い支援強化
ⓑ 成長を支えるスタッフの育成強化

❷世界トップレベルの選手を輩出し続ける
ⓐ ナショナルチーム（選手・コーチ・スタッフ）のさらなる強化によるメダル獲得
ⓑ オリンピック、ワールドカップシリーズ大会の成功
ⓒ 2024 に向けた活動方針の策定
ⓓ 国際組織（World Sailing/ASAF 等）との連携強化による情報収集と JSAF 地位向上

❸選手を知り、応援したくなる環境づくり
ⓐ オリンピック感謝イベントの開催
ⓑ 2024 以降を目指す選手の紹介とアピール
ⓒ 選手ブログの制作
ⓓ「日の丸セーラーズ」応援グッズの展開

スポーツくじ toto BIG

YANMAR

A SUSTAINABLE FUTURE

テクノロジーで、新しい豊かさへ。

人が、いつまでも豊かに暮らせること。
自然が、いつまでも豊かでありつづけること。
その2つの「サステナビリティ」をどこまでも追求し、高い次元で両立。
次の100年へ、新しい豊かさの実現に貢献していきます。

36TH AMERICA'S CUP PRESENTED BY PRADA AUCKLAND 2021
YANMAR
OFFICIAL MARINE PARTNER

ヤンマーは第36回アメリカズカップの
オフィシャルマリンパートナーです。

yanmar.com

2020東京オリンピック日本代表内定選手紹介

いよいよ五輪を迎える。日本代表は、2020年4月1日時点で9種目14人の代表内定選手が決まっている。残すはフィン級のみだが、同クラスは2020年5月にスペイン・パルマで開催されるワールドの結果で内定選手が決まる。

吉田 愛（ヨシダ アイ）
所属：ベネッセホールディングス
生年月日：1980年11月5日
年齢：39歳
身長：161cm
体重：58kg
主な戦歴：北京、ロンドン、リオ五輪（5位）。ドーハ、広州、ジャカルタアジア大会（金）、世界選手権2018年1位、19年2位、全日本選手権2019年1位

吉岡 美帆（ヨシオカ ミホ）
所属：ベネッセホールディングス
生年月日：1990年8月27日
年齢：29歳
身長：177cm
体重：70kg
主な戦歴：リオ五輪（5位）。世界選手権2018年1位、19年2位、全日本選手権2019年1位

岡田 奎樹（オカダ ケイジュ）
所属：トヨタ自動車東日本
生年月日：1995年12月2日
年齢：24歳
身長：170cm　体重：64kg
主な戦歴：五輪初出場。広州アジア大会OP級4位、世界選手権2018年6位、19年9位、全日本選手権2017年、18年1位、2018年ワールドカップ江の島大会1位、20年同マイアミ大会2位

外薗 潤平（ホカゾノ ジュンペイ）
所属：九州旅客鉄道
生年月日：1991年3月20日
年齢：29歳
身長：174cm
体重：73kg
主な戦歴：五輪初出場。世界選手権2018年6位、19年9位、全日本選手権2017年、18年1位、2018年ワールドカップ江の島大会1位、20年同マイアミ大会2位

土居 愛実（ドイ マナミ）
所属：アビームコンサルティング
生年月日：1993年8月29日
年齢：26歳
身長：166cm
体重：65kg
主な戦歴：ロンドン、リオ五輪出場。仁川、ジャカルタアジア大会（銀、金）、世界選手権2017年3位、20年8位

南里 研二（ナンリ ケンジ）
所属：百五銀行
生年月日：1992年6月8日
年齢：28歳
身長：190cm　体重：81kg
主な戦歴：五輪初出場。レーザー級世界選手権2019年57位、20年63位、全日本選手権2018年3位

須長 由季（スナガ ユキ）
所属：ミキハウス
生年月日：1980年12月28日
年齢：39歳
身長：171cm　体重：63kg
主な戦歴：ロンドン五輪出場。世界選手権2018年36位、19年35位、20年同21位、2019年ワールドカップ江の島大会9位

富澤 慎（トミザワ マコト）
所属：トヨタ自動車東日本
生年月日：1984年7月19日
年齢：36歳
身長：182cm　体重：73kg
主な戦歴：北京（10位）、ロンドン、リオ五輪出場。広州、仁川、ジャカルタアジア大会、世界選手権2019年10位、20年20位、2019年ワールドカップ江の島大会6位

山崎 アンナ（ヤマザキ アンナ）
所属：ノエビア・日本体育大学
生年月日：1999年12月19日
年齢：20歳
身長：164cm
体重：59kg
主な戦歴：五輪初出場。世界選手権2019年20位、20年32位

髙野 芹奈（タカノ セナ）
所属：ノエビア・関西大学
生年月日：1998年3月1日
年齢：22歳
身長：166cm
体重：69kg
主な戦歴：リオ五輪出場。世界選手権2019年20位、20年32位

高橋 稜（タカハシ リョウ（レオ））
所属：The University of Auckland
生年月日：1998年12月18日
年齢：21歳
身長：188cm　体重：86kg
主な戦歴：五輪初出場。世界選手権2018年26位、20年33位、2018年ワールドカップ江の島大会10位

小泉 維吹（コイズミ イブキ）
所属：早稲田大学
生年月日：1996年9月1日
年齢：23歳
身長：168cm　体重：67kg
主な戦歴：五輪初出場。仁川アジア大会420級（銀）、世界選手権2018年26位、20年33位、2018年ワールドカップ江の島大会10位

飯束 潮吹（イイツカ シブキ）
所属：エス・ピー・ネットワーク
生年月日：1988年8月23日
年齢：31歳
身長：174cm　体重：68kg
主な戦歴：五輪初出場。釜山アジア大会OP級（金）、ドーハアジア大会420級（銀）、世界選手権2019年30位、20年19位

畑山 絵里（ハタヤマ エリ）
所属：エス・ピー・ネットワーク
生年月日：1992年5月5日
年齢：28歳
身長：167cm
体重：70kg
主な戦歴：五輪初出場。世界選手権2019年30位、20年19位

未定

＊年齢は2020年7月24日現在

翼は、夢を見る。

勝利を夢見て、ひたすら努力するアスリートたち。
彼らの頑張りが、汗が、涙がスポーツの魅力となって輝く。
勝敗をこえた感動を、私たちに与えてくれる。
彼らのさらなる飛躍を願い、
ＪＡＬはスポーツの夢を応援します。

日本航空は、東京２０２０
オリンピック・パラリンピックの
オフィシャルエアライン
パートナーです。

TOKYO 2020

JAL
JAPAN AIRLINES

TOKYO 2020
PARALYMPIC GAMES

東京２０２０オフィシャルエアラインパートナー

会場は江の島ヨットハーバー

2020 東京オリンピック セーリング競技事前情報

**いよいよ、今年、東京オリンピックが開催される。
セーリング競技の Notice of RACE も既に発表されている。
そのセーリング競技の概要をまとめた。
観戦の参考に供していただきたい。（編集部）**

JUNICHI HIRAI / BULKHEAD magazine JAPAN

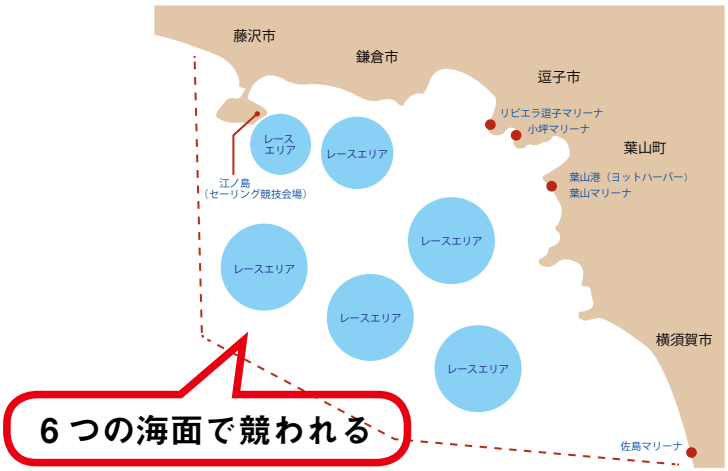
競技日程は７月26日から８月５日

	13-Jul	14-Jul	15-Jul	16-Jul	17-Jul	18-Jul	19-Jul	20-Jul	21-Jul	22-Jul	23-Jul	24-Jul	25-Jul	26-Jul	27-Jul	28-Jul	29-Jul	30-Jul	31-Jul	1-Aug	2-Aug	3-Aug	4-Aug	5-Aug	6-Aug
RS:X M	VENUE SECURITY LOCKDOWN	VENUE OPEN							TEAM LEADERS MEETING	EI	EI	OPENING CEREMONY		1,2,3	4,5,6	R	7,8,9	10,11,12	R	MR	RMR				
RS:X W										EI	EI			1,2,3	4,5,6	R	7,8,9	10,11,12	R	MR	RMR				
Laser										EI	EI			1,2	3,4	5,6	R	7,8	9,10	R	MR	RMR			
Radial										EI	EI			1,2	3,4	5,6	R	7,8	9,10	R	MR	RMR			
Finn													EI	EI	EI	1,2	3,4	5,6	R	7,8	9,10	R	MR	RMR	
470 M													EI	EI	EI		1,2	3,4	5,6	R	7,8	9,10	R	MR	RMR
470 W													EI	EI	EI		1,2	3,4	5,6	R	7,8	9,10	R	MR	RMR
49er										EI	EI		EI	EI		1,2,3	4,5,6	R	7,8,9	10,11,12	R	MR	RMR		
49erFX										EI	EI		EI	EI		1,2,3	4,5,6	R	7,8,9	10,11,12	R	MR	RMR		
Nacra 17													EI	EI	EI		1,2,3	4,5,6	R	7,8,9	10,11,12	R	MR	RMR	

EI:Equipment Inspection　1, 2, 3:Racing Day　R:Reserve Racing Day　MR:Medal Race Day　RMR:Reserve Medal Race Day

10種目でメダルを競う

470 級女子
470 級男子
Laser Radial 級（女子）
Laser 級（男子）
RS：X 級女子
RS：X 級男子
49erFX 級（女子）
49er級（男子）
フィン級（男子）
Nacra17 級（男女混合）



６つの海面で競われる

６月には前哨戦となる ワールドカップ江の島大会が開催

ヘンペル セーリングワールドカップシリーズ 2020
ファイナル江の島大会

主 催：ワールドセーリング・日本セーリング連盟
実施競技：オリンピック艇種 10 種目
参加選手：500 人（予定）、50 カ国・地域（予定）
大会日程
6 月 14 日（日）受付・計測・開会式・ウェルカムフェスティバル
6 月 15 日（月）受付・計測
6 月 16 日（火）から 6 月 19 日（金）予選レース
6 月 20 日（土）予選レース・メダルレース・表彰式・フェスティバル
6 月 21 日（日）メダルレース・表彰式・フェスティバル
（※スケジュールは天候等により変更する可能性あり）

番外情報

クルーザーも競う 2024 オリンピック

ちょっと気が早い情報だが、2024 年のパリオリンピックのセーリング競技にはクルーザータイプの艇を使った外洋レース種目が登場する予定。それに先立ってパリオリンピックと同じ方式で行う外洋レースの世界選手権が今年秋から始まる。オリンピック種目としては男女 1 人ずつが乗り込む混合ダブルハンドになり、4 日間 500 マイル程度のロングオフショアで競う。使用する艇種は、モノハルでフォイルしない 30ft(約 9 メーター）程度のプロダクション艇とされている。

オリンピックで実際に使うボートの艇種は 2023 年末に決まる予定だが、今年 10 月に地中海のマルタで開催の外洋世界選手権で主催者 World Sailing が用意する艇は、Luka30 という日本にもあるレーサー・クルーザー型のボートである。

アメリカズカップや SailGP のようなグランプリボートではなく、市販されているような汎用性のあるごく普通のセールボートが採用される予定という点がオリンピックを身近に感じさせる。

GO BEYOND™

2019 World Cup Series - Enoshima - 470 Class

Mens-Gold,Silver,Bronze,4,5,6,7,8,9
Womens-Gold,Silver,Bronze,4,5,7,8,9,10

2019 READY STEADY TOKYO

Mens-Gold,Silver,Bronze,4,5,6,7,8
Womens-Gold,Silver,Bronze,4,5,6,7,8,9,10

2019 470 Worlds

Mens-Gold,Silver,Bronze,4,7,8,9,10
Womens-Gold,Silver,Bronze,4,5,6,7,8,9,10

2019 470 European Championship

Mens-Gold,Silver,5,6,7,8,9,10
*Womens-Gold,Silver,Bronze,4,5,6,7,8,9,10**

2019 World Cup Series – Genoa - 470 Class

Mens-Gold,Silver,Bronze,4,5,6,8,9,10
Womens-Gold,Silver,Bronze,4,5,6,7,8,9,10

2019 Princess Sophia - 470 class

Mens-Gold,Silver,4,5,6,7,8,9,10
Womens-Gold,Silver,Bronze,4,5,6,7,8,9,10

2019 World Cup Series – Miami - 470 Class

Mens-Gold,Silver,Bronze,4,8,9,10
Womens-Gold,Silver,Bronze,4,5,6,7,8,9,10

Mathew Belcher / Will Ryan AUS

信頼の証し

THE SAILMAKER OF CHOICE...

Results History of 470 Class / Olympic Games powered by North Sails Japan

1996 Atlanta	Men-Gold,Silver	Women-Silver,Bronze
2000 Sydney	Men-Gold	Women-Gold,Bronze
2004 Athene	Men-Gold,Silver,Bronze	Women-Silver*,Bronze*
2008 Beijing	Men-Gold,Silver,Bronze*	Women-Gold,Silver,Bronze*
2012 London	Men-Gold,Silver	Women-Gold*,Silver,Bronze
2016 Rio	Men-Silver,Bronze	Women-Gold,Silver,Bronze

*-partial inventory

Hannah Mills/Saskia Clark GBR

Yokohama 045-770-5666
Kansai 0798-26-7771
Hokkaido 0134-25-3227

www.northsails.co.jp

NORTH SAILS

「いきいき茨城ゆめ国体2019」セーリング競技会

天皇杯は神奈川県、皇后杯は山口県が獲得

天皇陛下御即位記念第74回国民体育大会「いきいき茨城ゆめ国体2019」セーリング競技会は茨城県阿見町の「阿見町霞ケ浦セーリング特設会場」で開催され、天皇杯（男女総合優勝）は15年ぶり12回目の神奈川県が、皇后杯（女子総合優勝）は3年ぶり11回目の山口県が獲得した。

レポートと写真／黒川重男・JSAF国体委員会副委員長

ママさんセーラーも多く参加したセーリングスピリッツ級のスタート

15年ぶりの天皇杯（男女総合優勝）を獲得した神奈川県

出艇時は多くの観客が岸壁に駆けつけた

3日間で56レースを実施

2019年9月29日～10月2日、茨城県阿見町霞ケ浦セーリング特設会場において成年男子3種目、少年男子2種目、成年女子3種目、少年女子2種目の計10種目が行われた。

初日は風待ちの後、南西から南の4～8ノットの風で20レース、2日目も東から東南東の5～10ノットの風で20レース、3日目も東南東の4～7ノットの風で16レース、3日間とも絶好のコンディション下、予定の56レースがすべて実施された。

しかし、最終日は朝から風が弱く陸上待機となり、入賞圏内にいる選手、最終レースに逆転を期す選手がジリジリとした時間を過ごしたが、ついにD旗が掲揚されることなく大会は終了した。

3日目までの成績で神奈川県は、優勝こそ1種目だったが、2位が3種目、3位が3種目など、10種目中9種目で入賞し、総合得点101点で15年ぶりの男女総合優勝を果たした。長年の地道な強化が実った結果と推察される。

男女総合2位となった山口県は3種目で優勝、そのほかに3種目で入賞と、男女総合優勝してもおかしくない成績であり、惜しくも連覇は逃したものの3年ぶりの女子総合優勝を果たした。

開催県の茨城県は、少年女子レーザーラジアル級で優勝したほか、3種目で入賞するなど健闘したが、悲願の男女総合優勝は果たせなかった。

ママさんセーラーの活躍

今国体の特徴の一つに成年女子、特にママさんセーラーの参加が増え、その活躍が目立ったことがある。近年、成年女子種目の参加が少ないことが課題だったが、今年は成年女子セーリングスピリッツ級に昨年と比べ7県多い33県、レーザーラジアル級に31県の参加があり、その中には出産後競技に復帰したママさんセーラーも多くいた。

これはJSAFレディース委員会による国体会場でのチャイルドルームの開設など長年の環境整備によるところも大きいと思われ、セーリング競技が生涯スポーツであることの表れとも思われる。

「見える」セーリング競技への取り組み

今国体では大会ホームページによる情報提供のほか、観覧艇の運航、陸上カメラやドローン映像による大型ビジョンの中継とレース解説、トラッキングシステムなどセーリング関係者だけでなく来場した観客にも「見える」セーリング競技に積極的に取り組んでいた。

さらに、セーリング特設会場がレースエリアに近く、出艇、着艇だけでなく、レースの様子が肉眼でも見ることができるという好条件があり、非常に多くの観客が来場する風景が見られた。

また、心配された台風の影響もなく天候にも恵まれ、地元ボランティア団体による郷土料理のおもてなしやコンディショニングルームの開設などもあり、選手だけでなく観客も満足した大会だったと思われる。

今国体の開催にあたり、長年にわたり準備にご尽力いただきました阿見町実行委員会及び茨城県セーリング連盟、大会運営にご協力いただきました霞ケ浦漁業協同組合阿見町支部、（株）ラクスマリーナ、地元ボランティア団体など関係者の皆さまに心よりお礼申し上げます。

2019-2020 日本 - パラオ親善ヨットレース

南国パラオに向かって1,726マイルを走破！2つの国をつなぐ外洋ヨットレース

2019年12月29日13:00、横浜港とパラオ共和国（1,726マイル＝約3,200km）を結ぶ国際外洋ヨットレースがスタートした。日本発の本格的な国際外洋ヨットレースは久々の開催だ。事故や大きなトラブルもなく、1月11日までに参加7艇がパラオ・コロール島沖のフィニッシュラインを切った。

文＝日本 - パラオ親善ヨットレース実行委員会／広報　写真＝船社

最終成績表（PHRF ディビジョン）

1位：テティス 4
2位：アルタイル III
3位：1122 トレッキー
4位：チームパラオ・ミニー
5位：ラッキーレディ VII
6位：マンデーナイト
7位：翔鷗

写真上：６人のパラオジュニアセーラーが来日し、日本のジュニアと親善レースを楽しんだ。スタッフも交えて記念の１カット。写真右ページ上：優勝した〈テティス４〉。
写真右ページ下：2019 年 12 月 29 日、パラオレース、横浜港をスタート！　中央の大型船は全航程を伴走した練習帆船〈みらいへ〉。

パラオ共和国のレメンゲサウ大統領の祝福を受ける〈テティス４〉の児玉萬平艇長

日本 - パラオ親善ヨットレース、参加７艇のスキッパーが表彰式でそろい踏み

本レースは単なる外洋ヨットレースではなく、２０１９年に独立25周年を迎えた、日本と縁の深いパラオ共和国との友好親善を深める目的で開催されたものです。レース参加者はもちろん、レースに参加しない方も関われるような、多くの関連プロジェクトが進められました。

プロジェクトには３つの柱があり、その１つが日本発、パラオ着の外洋ヨットレースです。

そして２つ目は、パラオにセーリング文化を広め、育てること。昨春、日本からパラオにＯＰ級ヨット20隻を寄贈し、現地に指導スタッフを派遣するなど、長期にわたって取り組んできました。６人のパラオジュニアセーラーが来日し、12月28日には日本のジュニアセーラーと親善レースが実施されました。

３つ目は、ヨットレースと環境調査の協働。

本レースには練習帆船〈みらいへ〉が伴走艇として同行しましたが、そこにはJAMSTEC（海洋研究開発機構）の研究員も乗船し、レース海域でのマイクロプラスチックの採取調査を実施しました。この採取装置はレースに参加した〈１１２２トレッキー〉にも搭載され、外洋ヨットレースだからできることを考えるきっかけになったと思います。

安全対策も万全に練りました。参加艇のレギュレーションとして外洋特別規定（ＯＳＲ）のカテゴリー１を国内のレースでは初めて採用。９月には、オーストラリアから講師を招き、選手（乗員の30％以上）にワールドセーリング認定のサバイバルトレーニングの受講を義務づけました。

また、古野電気が開発し、特別協賛をしていただいたトラッキングシステムを各艇に搭載。レース中はほぼリアルタイムに位置情報が見られ、スマホやパソコンで多くの人たちがレースを楽しむことができました。もちろん、運営側の安全面でのメリットは非常に大きなものがありました。

さらに、アイコムからイリジウム衛星トランシーバーを提供いただき、レース中は１日２回のロールコールに活用しました。各艇には、ソフトバンクから提供いただいたスラヤ衛星電話も搭載され、二重三重の通信手段の確保ができたことは、安全面から考えると大きな功績がありました。

＊

スタート翌日には日本列島南岸を低気圧が通過。なんとも激しいヘビーウェザーの中での幕開けとなりました。海の上で年越しを迎え、さらに南へと前進。スコールや突風も多く、船体各部に破損を生じる艇もあるなど、各艇がサバイバルセーリングを繰り広げたようです。

そんな中、１月８日17：41に〈アルタイルⅢ〉がトップフィニッシュ。以下、〈１１２２トレッキー〉、〈チームパラオ・ミニー〉と続き、１月11日19：11に〈翔鷗〉が大トリでフィニッシュし、記念すべき日本-パラオ親善ヨットレースが幕を閉じました。

＊

３年越しで準備され、実施された本ヨットレースは、日本のセーリング界の歴史に大きな足跡を残せたのではないでしょうか。また、競技としての単なるイベントではなく、両国の友好親善、環境調査への協力、子どもたちへの教育活動など、今後に向けてさまざまな側面から意義のあるイベントになったと思われます。

ジュニア親善レースは毎年定期的に開催されることが決定し、今夏にはパラオへ日本のジュニアが出かけレースをします。そして４年後に次の外洋レース開催を目指すことが発表されました。（文中敬称略）

の国際大会

2019 年に行われた 4 つのディンギー関係の国際レースをまとめてレポート。オリンピックを翌年に控え大いに盛り上がった。

レーザー級世界選手権大会　大会公式サイト https://2019worlds.laserjapan.org/

海面、おもてなし度、レース運営もスーパー！

JUNICHI HIRAI ／ BULKHEAD magazine JAPAN

2019年7月2日～9日レーザーワールド、同7月17日～24日レーザーラジアルワールドは鳥取県境港公共マリーナ（美保湾）で開催された。東京オリンピックに向けての国枠選考第２戦となる。

男子スタンダードおよび女子ラジアル級には 63 カ国が東京オリンピック枠を目指してチャレンジした。すでに2018年ワールドで枠を獲得した国々はそれぞれの国の代表選考の一部としての重要な大会であり、非常にクオリティーの高いレース運営が求められた大会であった。

また、オリンピック競技は男女同数の選手数とすべきというIOCの方針の中、レーザー級は男子枠の大幅減少（35 枠）を余儀なくされた。そのため男子国枠の争いは非常にレベルの高いものとなった。逆に女子枠は大幅増加（44 枠）となって多くの新しい国々のチャレンジがあり、これまた競争率の高いレースとなった。

日本にとってのトピックは前年のワールド３位で国枠を獲得した土居愛実選手がラジアルで３位以内に入り五輪代表を確定するか。一方、男子は JSAF がオリンピック選手推薦の枠としているオリンピック参加国数内に入り、オリンピックへの参加を確実なものとするかに大きなプレッシャーがかかっていた。

結果、土居選手は前半でスコアを崩し総合15位、五輪代表決定は次のメルボルンワールドへ持ち越しとなった。男子では南里選手が国別 34 位で JSAF の推薦枠である 35 位をクリアした。

五輪本番のレース運営力を高めることは今大会の大きな目標であり、PRO を務めてくれた五輪のレーザーコースを担当するヒュー・レスター氏が「海面、おもてなし度、レース運営もスーパー！」と親指をギュッと押し出してくれたことは大きな成果だった。（レポート／大谷たかを）

ヤマハ 470 級世界選手権大会 2019　大会公式サイト http://2019worlds.470.org/en/default/races/

女子の吉田愛／吉岡美帆組、五輪代表に決定

YAMAHA 2019 470 Class World Championship © JUNICHI HIRAI / BULKHEAD magazine JAPAN

2019 年 8 月 2 日～9 日、日本で３度目の開催となる「470 級世界選手権大会」が神奈川県藤沢市の江の島ヨットハーバーで開催された。

今大会には男女合わせて 29 カ国・地域から 184 人（男子は 25 カ国・地域から 53 チーム 106 人、女子は 23 カ国・地域から 39 チーム 78 人）が参加。日本からは男子８チーム、女子４チームがエントリーし、世界タイトルだけでなく東京 2020 五輪代表の座をかけた真剣勝負が行われた。

大会最終日、女子トップのイギリス組と１点差の２位でメダルレースに進出した吉田愛／吉岡美帆組は、レース序盤からデッドヒートを繰り広げた。レース中盤、２艇は左右別の海面を選択。その間にイギリスが逆転に成功し、そのまま先行してフィニッシュした。吉田／吉岡組は２位だったが、日本人最上位で表彰台に上ったことで五輪代表に内定した。

「大会後半は風が吹き、波も高い体力的にもきついシリーズでしたが、上位陣と毎日接戦ができたことで自信もつき、充実した大会でした」（吉岡）

「スタートからイギリスをマークしていましたが、中盤、フランスがいい走りをしていたのでそちらにも注意を払わなければならず、逆転を許してしまいました。オリンピックまであと１年。今大会の銀メダルを金メダルに変えられるよう、しっかり準備します」（吉田）

６位でメダルレースへ進んだ男子の岡田奎樹／外薗潤平組は、スピードに乗って絶好のスタートを切ったが、わずかにタイミングが早く痛恨のリコールで OCS となり総合９位。男子の代表選考は次の規定大会へと持ち越しとなった。

（レポート／西朝子）

2019年に行われた4つ

Ready Steady Tokyo-Sailing　大会公式サイト https://tokyo2020.org/

本番さながらのテストイベントを実施

2019年8月15日～22日、テストイベントとなる「レディ・ステディ・トウキョウ・セーリング」が五輪会場となる神奈川県藤沢市の江の島ヨットハーバーで開催された。参加選手は45カ国・地域から集まった335人。レーザー級、レーザーラジアル級、フィン級、470級男女、49er級、49erFX級、男女混合のナクラ級、RS:X級男女の10種目によるレースが行われた。

すでに五輪切符を手にした選手もいたが、参加選手の多くは選考の途中。本番のレース海面を見極めつつ、ライバルたちとの熱い戦いを繰り広げることとなった。リオ五輪金メダリスト、49er級のピーター・バーリング／ブラー・チューク組（NZL）は同クラスでの活動からしばらく遠ざかっていたが、ブランクを感じさせないレースさばきで危なげなく優勝。同じくリオ五輪金メダリスト、49erFX級のマルチナ・グラエル／カヘナ・クンゼ組（BRA）も優勝し、五輪連覇に意欲を燃やしていた。

1年後のオリンピックで日本勢のメダル獲得が期待される470級男女には、磯崎哲也／高柳彬組と吉田愛／吉岡美帆組が出場。男女ともに上位10艇によるメダルレースに進出し、ハイレベルな戦いを繰り広げたが、磯崎／高柳組が7位、吉田／吉岡組が4位と惜しくもメダルには手が届かなかった。

今大会は選手だけでなく、運営側にとっても20年を見据えた大事なイベント。海上運営チーム、陸上運営チームそれぞれが各方面でテストを行い、本番に向けてのオペレーションを確認する有意義な大会となった。

（レポート／西朝子）

JUNICHI HIRAI / BULKHEAD magazine JAPAN

ヘンペル セーリングワールドカップシリーズ江の島大会　大会公式サイト https://wcs-enoshima.jp/

土居/木村組が470級男子で銅メダル獲得。五輪代表は岡田/外薗組

2019年8月25日～9月1日、神奈川県藤沢市の江の島ヨットハーバーを拠点に46カ国・地域から496人（日本人選手64人）が参加した「セーリングワールドカップシリーズ江の島大会2019」が開催された。

大会は強風から微風までさまざまなコンディションの中で行われ、上位10艇で行われるメダルレースには、RS:X級男子の富澤慎、同級女子の須長由季、470級男子の土居一斗／木村直矢組、髙山大智／今村公彦組の日本人選手が進出した。

ダウンウインドスタートとなったRS:X級のメダルレース。須長はスピードに乗って絶好のスタートを切り、第1マークをトップで回航したが中盤で順位を下げ、最終成績は9位。

「波やウネリのある海面でのギアの扱いがトップ選手とまだ差があります。今日もジャイブのタイミングが遅れ順位を落としてしまったのが残念です」（須長）

富澤はスタートで出遅れたが中盤で順位を上げ、最終成績は6位。

「今大会を含め、直近の3大会でいずれもメダルレースに進出できたことで、リオ五輪後から課題として取り組んでいた強風に自信がついてきました」（富澤）

日本勢2チームがメダルレースに出場した470級男子は、微風と潮の流れで神経を使うレース展開に。土居／木村組はスウェーデンと終始3位、4位争いを続けていたが、終盤で逆転。銅メダルを手にした。

「（五輪）選考では負けてしまいましたが、メダル獲得は素直にうれしいです」（土居／木村）

今大会が五輪代表選考最終戦だった470級男子。メダルレース進出は逃したものの総合11位で通算ポイント首位となった岡田奎樹／外薗潤平組が日本代表に内定した。（レポート／西朝子）

Hempel World Cup Series Enoshima Round 2019 © JUNICHI HIRAI / BULKHEAD magazine JAPAN

スポーツ団体ガバナンスコード制定に伴う JSAF・JSAF加盟団体の対応について

公益財団法人日本セーリング連盟　専務理事　川北　達也
総務委員会　安藤　淳

会員皆さまご高承のとおり、2019 年 6 月に中央競技団体（以下 NF。JSAF が該当）向けスポーツ団体ガバナンスコードが制定されました。またこれに続いて、2019 年 8 月には一般スポーツ団体向けガバナンスコードも併せて制定され、JSAF に加盟するすべての団体には、来年度以降この一般スポーツ団体向けガバナンスコードが適用されることとなります。

2019 年 12 月 16 日に公益財団法人日本スポーツ協会 / 公益財団法人日本オリンピック委員会主催の NF 向け説明会が開催され、下記のとおり JSAF 及び JSAF 加盟団体で実施する事項が明確化されました。JSAF としてもスポーツ団体ガバナンスコード制定の趣旨を踏まえ、下記の通り対応してまいります。スポーツ団体ガバナンスコードを遵守していく JSAF の対応については、今後連盟ホームページにおいて、説明、公表を行ってまいりますので、会員の皆さまにもご理解とご協力をお願いいたします。

1. JSAF として対応すべき事項

（1）中央競技団体（NF）向けガバナンスコードに定める 13 の原則（別表 1）の達成状況について、毎年自己説明を行い、これをホームページ等により公表します。（毎年度 7 月までに実施）

（2）4 年に 1 回、統括 3 団体（日本スポーツ協会、日本オリンピック委員会、日本障がい者スポーツ協会）によるスポーツ団体ガバナンスコード適合性審査を受けます。（JSAF の初回受査は、2021 年度実施で決定）

（3）NF 向けガバナンスコードに定められた NF の加盟団体に対する指導、支援（原則 13）の一環として、以下の事項を行います。

①JSAF加盟団体に対して、一般スポーツ団体向けガバナンスコードに定められた自己説明及び公表を継続的に要請していきます。

②スポーツ団体ガバナンスの重要性、現状と課題について共通認識を持ち、組織運営にあたっていただくことを目的として、今年度開始した JSAF 理事、専門委員会委員長、加盟団体理事長クラスを対象とした研修会を継続実施します。

（4）JSAF 加盟団体規程の見直しを含めた必要な体制整備、並びに諸規程の整備を行います。

2.JSAF 加盟団体として対応すべき事項

（1）一般スポーツ団体向けガバナンスコードに定める 6 の原則（別表 2）の達成状況について、毎年自己説明を行い、これをホームページ等により公表していただきます。自己説明、公表は NF と同時期となります。

（2）スポーツ庁、もしくは統括団体への報告は不要です。4 年に 1 回の統括団体による適合性審査も行われません。

（3）但し、公的助成を受けている JSAF 加盟団体は、将来的には法人化を目指すことが望ましい旨ガバナンスコードに明記されていること、及び公的助成については従来以上に県、県体協等の経理処理確認が行われること、に留意して対応する必要があります。

別表 1　中央競技団体（NF）向けスポーツ団体ガバナンスコード（自己説明、公表項目）

原則 1	組織運営等に関する基本計画を策定し公表すべきである。
原則 2	適切な組織運営を確保するための役員等の体制を整備すべきである。
原則 3	組織運営等に必要な規程を整備すべきである。
原則 4	コンプライアンス委員会を設置すべきである。
原則 5	コンプライアンス強化のための教育を実施すべきである。
原則 6	法務、会計等の体制を構築すべきである。
原則 7	適切な情報開示を行うべきである。
原則 8	利益相反を適切に管理すべきである。
原則 9	通報制度を構築すべきである。
原則 10	懲罰制度を構築すべきである。
原則 11	選手、指導者等との間の紛争の迅速かつ適正な解決に取り組むべきである。
原則 12	危機管理及び不祥事対応体制を構築すべきである。
原則 13	地方組織等に対するガバナンスの確保、コンプライアンスの強化等に係る指導、助言及び支援を行うべきである。

別表 2　スポーツ団体ガバナンスコード ＜一般スポーツ団体向け：JSAF 加盟団体＞

原則 1	法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。
原則 2	組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。
原則 3	暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。
原則 4	公正かつ適切な会計処理を行うべきである。
原則 5	法令に基づく情報開示を適切に行うとともに，組織運営に係る情報を積極的に開示することにより，組織運営の透明性の確保を図るべきである。
原則 6	高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合，ガバナンスコード＜ NF 向け＞の個別の規定についても，その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。

中央競技団体向け、一般スポーツ団体向けスポーツ団体ガバナンスコードの詳細は、スポーツ庁ホームページに公開されています。
中央競技団体（NF：JSAF）向け
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/houdou/31/06/1417895.htm
一般スポーツ団体（JSAF 加盟団体）向け
https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/houdou/31/08/1420413.htm

江の島に、日の丸を。

日の丸セーラーズ
SAILING Team JAPAN

©Kazushige Nakajima

セーリング日本代表「日の丸セーラーズ」を応援しています。

YAMAHA Revs Your Heart / Prudential / SECOM / 総合教育・生涯学習機関 ECC / triple a / LUXURY CARD. / YANMAR / ID
AOKI / 読売新聞 / JR東日本 / KEIKYU / odakyu / Design Your Life RIVIERA / JTB SPORTS / zhik / HH

公益財団法人 日本セーリング連盟

www.jsaf.or.jp/hinomaru_s/

セーリング ワールドカップシリーズ ファイナル 江の島大会 2020 | 6月14日(日)-21日(日) 江の島ヨットハーバー

SAIL GP を素材にした e-Sailing の画面

スマホのディスプレイでも見やすい

e-Sailingではスポーツ、自然、ITを組み合わせ、仮想のセーリング競技をゲームとして楽しむことができます。バーチャルレガッタ（Virtual Regatta）およびワールドセーリング（World Sailing）とのパートナーシップで発足した「e-Sailing 世界選手権」の開催も発表されています。

e-スポーツがセーリングの世界に登場 無料アプリで「e-Sailing」を楽しみませんか

レポートと写真／尾形 依子（JSAF e-Sailing 委員会）

拡散の兆し？

2019年のセーリングワールドカップシリーズ江の島大会期間中の8月31日、9月1日に行われた「ワールドカップフェスティバル」で、e-Sailingのプレゼンテーションを行いました。

メダルレース・ウエットセレモニーの合間に大型ビジョンで紹介し、会場内の特設テントブースで体験会を開催しました。多くの方が立ち寄り、現役セーラーも操作方法を説明するとすぐにレースに参戦し「面白い」と盛り上がりました。全くヨットに乗ったことがない方がお子さんとアプリ内の「Sailing School」で権利艇の避け方等を簡単に体験して、帰る時には「面白いですね。家に帰ってもやってみます」と言ってくれたり、昔ヨットに乗った経験がある方が「SNSに上げていいですか？」と言ってくれたり、セーリングファン拡大そして拡散の兆しが見られました。

多くのメディアの方から取材申し込みをいただき、体験もしていただきました。「e-スポーツにヨットゲームがあるとは知りませんでした。面白いですね」とe-Sailingに皆さん興味津々でした。

注目を浴びた、e-Sailing のプレゼンテーション

世界選手権も開催

19年バミューダの世界選手権では、半年以上にわたる予選を勝ち抜いた8人のセーラーが集まり、賞金100万ドルをかけてファイナルを戦いました。

2020年eSailGP選手権（ロンドン）では優勝者にROCKWOOLコペンハーゲンSailGPへの招待旅行、F50カタマランへの乗船機会、そしてeSailingワールドチャンピオンシップ決勝への参加資格が与えられます。シーズン中に7つの予選イベントを実施し、それぞれの勝者が8月14日にeSailGPグランドファイナルに進出します。ファイナリストはeF50で対戦。これは、SailGPで実際に使用する世界最速艇のデジタル再現版です。

24年パリオリンピックでは、現実世界のヨット（オリンピック参加艇）と、バーチャル世界のセーラー（世界中から誰でも自由に参加できます）が同じ気象・海象の条件下で競うという構想もあるようです。

セーリングを始めたばかりの人が、次のセーリングの機会までのシミュレーションとして活用し、一度セーリングから離れたセーラーが再開するきっかけとして使い、ヨットレースを知らない人への導入ツールとして利用するなど多くの可能性を秘めているe-Sailingは今後の発展が楽しみです。皆さんの参戦をお待ちしています。

レースに夢中になる来場者たち

ONE
OCEAN NETWORK EXPRESS

“AS ONE, WE CAN.”
運んでいるのは、ひとり一人の毎日。

OCEAN NETWORK EXPRESS (JAPAN) LTD.

jp.one-line.com

ヤマハ発動機株式会社
〒438-8501 静岡県磐田市新貝 2500 https://www.yamaha-motor.co.jp

NOTICE ノーティス ボード BOARD

東京2020を応援する「フラッグリレー」（東京2020応援プログラム）

ヨットでつなぐ応援の輪フラッグリレー

2020年東京オリンピックを盛り上げようとJSAF主催による「フラッグリレー」が16年からスタートしました。19年も日本各地をフラッグがつなぎました。その中から九州一周と北海道一周のレポート（抄）を紹介します。

九州の周航（19年3月）

18年8月、ハウステンボスカップで熊本県から長崎県に引き継がれたオリンピック応援フラッグの「鹿児島・沖縄バージョン」。

その後フラッグはセーラーの思いと共に順調にリレーされ、海路、佐賀県の唐津、福岡県の小戸、関門海峡を通過して、大分県の別府、そして宮崎県の宮崎市に至りました。

宮崎市では戸敷正市長を表敬訪問し、「夢・希望で感動！」とのサインをいただきました。

その後、フラッグは宮崎のヨット〈スローライフ〉に託され南下。無事に大隅半島を回り19年3月9日に鹿児島市谷山港に到着しました。フラッグはこの後、再び沖縄を目指し南下を開始します。

いよいよ迫ってきた東京オリンピック。多くの人々の思いを背負ってリレーされ、フラッグはまだまだ皆さんの土地へ、港へとまわります。（レポートと写真／外洋南九州・宇都光伸）

北海道の周航（19年8月）

19年1月の段階で、私たちのヨット〈すばる〉（ファースト435）はこの夏のロングクルージングを北海道反時計回り一周にしようと計画中でした。

3月に届いたJ-SAILING 114号で「フラッグリレー」協力艇募集のことを知り、JSAFに連絡を取ったところ、函館と室蘭にはレースの折に披露されたが、北海道一周の予定はないとのことで、早速申し込みました。

「日本一周フラッグ」は秋田県にあり、これを福岡から小樽に回航してきたヨット〈サンドムーン〉が秋田マリーナ経由で届けてくれました。

7月17日の出航前には、「マイクロプラスチック採集による海洋環境調査」のキットも届き、「フラッグリレー」と併せて2つのミッションを担っての船旅となりました。

北海道一周の寄港地は次のようになりました。

岩内、瀬棚、江差、松前、函館、椴法華、室蘭、苫小牧西、浦河、広尾十勝港、釧路、浜中霧多布、根室、標津、羅臼、ウトロ、網走、紋別、枝幸、稚内、羽幌、留萌。22の寄港地を経て、8月8日小樽に帰航しました。

この模様は北海道新聞に大きく掲載されました。（レポートと写真／外洋北海道・廣田英夫）

オリンピックに向けて

2020年はオリンピックに向けて、各地をつないだフラッグが残りの海域を回って開催地に向けて集まってきます。フラッグはオリンピック直前の6月には東京に入る予定です。

HARKEN®

Power3 Ratchet Blocks

Standard grip

1.5× grip

2× grip

Japanese web site
harken.jp

ハーケンジャパン株式会社
info@harken.jp

ハーケンサプライ合同会社
supply@harken.jp

気象庁・津波警報等の視覚信号としてU旗等赤白格子状の旗を指定

気象庁の有識者検討会が2020年2月13日、津波警報・津波注意報等の場合の海岸等での視覚信号として「赤と白の格子模様（国際信号旗である「U旗」と同様の色彩）」を用いることを報告しました。気象庁は今後手続きをとって法令（気象業務法）の整備をするということです。

津波注意報、津波警報等の場合、サイレンを鳴らすことが法令上決められていますが、気象庁では聴覚障がい者や海岸で風波等で音響が聞きにくい場所にいる人、さらに沖でマリンレジャー、マリンスポーツをしている人たちにも注意を喚起するための視覚信号を検討してきました。この間にはJSAFへも来訪され、ヨット関係者が陸上であげる可能性のある信号旗等を確認されました。

赤白格子状の旗は、一番目立つこと、海岸（陸上）では他に使用していないこと、さらに国際信号旗「U旗」には単独使用で「You are running into danger」という意味があり、国際的にも危険が迫っていることを示している旗であることから選ばれたようです。

なお、今後全国に周知する際には、赤白格子模様の旗はあくまでも海岸（陸上）での伝達手段で、海の沖で揚がる「U旗」にはおのおの使う方が別の意味（例えばヨットレースでは準備信号）で使用しており、沖のU旗は津波警報等の信号旗ではない旨も説明していただくようにJSAFから気象庁に申し入れています。

詳しくは気象庁ホームページを参照してください。

https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/study-panel/tsunami-shikaku/tsunami-shikaku.html

オリンピックや国際大会等での小型船舶免許、登録、検査の特例について

オリンピックなど国際大会及びその練習のために来日する海外選手・コーチ等のための小型船舶操縦免許、および海外から持ち込まれるコーチボート等の小型船舶登録、小型船舶検査の適用除外関係の法令改正が2016年9月20日に行われ、より簡易な手続きで進められることとなりました。これは15年秋から国土交通省とJSAFが勉強会を積み重ねて、オリンピック等に向けて制度の研究をして緩和が図られることになったものです。

この制度緩和に基づくオリンピック開催の神奈川県江の島・湘南の海域の手続き等が16年9月末までに国土交通省から承認され、同年10月1日から開始されています。

この海域で活動する海外の選手・コーチのためには、JSAFを窓口に簡易な届けで国土交通省が免許証に代わる「オペレーターカード」を発行し、同海域で随時ドライビングできるようになりました。オペレータカードは19年末までに492枚発行されました。

また、海外から持ち込むコーチボート等はJSAFで確認し、要件に合致したものについて確認済証シールを貼付する方法になりました。19年末まで累計で226艇となっています。なお、艇が海域から出入りする度に再確認も行っています。

20年もワールドカップシリーズ・ファイナルやオリンピック及びその練習のために海外から選手・コーチが訪日し、コーチボート等が持ち込まれるので、JSAFでは引き続きオペレーターカード発行やコーチボート等の確認・再確認を行う体制を取っていますが、20年4月からは東京オリンピック・パラリンピック組織委員会がセーリング以外の他の競技種目のものも含めこれらの業務を引き継ぐことになりました。

また、これら小型船舶の免許、検査、登録の特例は国内各地でも活用され、16年アメリカスカップ福岡大会、17年ワールドカップシリーズ蒲郡大会、18年ハンザワールド（広島）、19年レーザークラスワールド（境港）でも、この緩和された制度で特例措置が認められています。

今後の国際大会でもこの制度の適用で手続きが簡略化されますので、国際大会を計画しているところはJSAF事務局にお問い合わせください。

JSAF事務局、移転しました

JSAF事務局は、岸記念体育会館から新会館 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE に移転しました。

新事務局連絡先
〒160-0013
東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE
9階902号室
電話　03-6447-4881
FAX　03-6447-4882
Email　head@jsaf.or.jp

QUANTUM SAILS

2019 レース結果

- Maxi72 世界選手権 - 1
- TP52 世界選手権 - 1
- Nations Trophy Club Swan36 - 1
- Melges32 世界選手権 - 1
- Melges24 世界選手権 - 1
- Melges20 WINTER SERIES,E2 – 1
- J/70 ヨーロッパ選手権 - 2
- Dragon Grand Prix - 1
- Snipe 世界選手権 - 1,2,4

他多数

クァンタムセイルは挑戦を続ける、
GP&ワンデザインでの勝率の高さ、
TP52シリーズに代表される開発力、
その評価はアメリカスカップへと繋がる。

クァンタム・ジャパン
www.wattsmarine.jp
新規セイル、セイル修理、ロープ＆艤装品、
マストを含むリグメンテナンス等。
お気軽にご相談下さい。

（株）セイルス・バイ・ワッツ・ジャパン
本社ロフト
〒238-0233　神奈川県三浦市向ヶ崎町8-40
電話：046-882-5451　Fax：046-882-4319

関西営業所
〒662-0933　兵庫県西宮市西波止町1-2
マリンスクエア M-1
電話：0798-23-6410

株式会社 グロリア ツアーズ TEL:03-6826-3434（代表） http://www.gloria-tours.jp

天宣会グループ 〒277-0021 千葉県柏市中央町1-1 TEL.04-7167-6667（代表）
医療法人社団 天宣会 社会福祉法人 天宣会 株式会社 日本エフピー総合企画

Kazi&BoatCLUBのデジタル版刊行!

2020年1月号から発売中

デジタル版なら……

- ☑ 読みたくなったら、すぐ買える
- ☑ 好きな時間、空いた時間に気軽に読める
- ☑ かさばることなく、どこにでも持って行ける
- ☑ 保管に場所を取らない
- ☑ 紙の雑誌よりお得な価格……etc

『Kazi』『ボート倶楽部』デジタル版 Q&A

Q1 内容は?

基本的に紙の雑誌と同じです。一部、画像、広告、付録などが含まれない場合もあります。

Q2 価格は?

紙の雑誌の約9割の価格で購入できます。

『Kazi』982円+税
『ボート倶楽部』802円+税

紙の雑誌が特別価格となる号では、その約9割の価格です。

Q3 発売日は?

基本的に紙の雑誌(毎月5日)と同じです。曜日によっては、数日異なる場合もあります。

Q4 どこで買えるの?

amazon kindle、iBooks Store(apple)、hontoなどの電子ブックストアで購入できます。

検索 舵社 電子出版

上記のサイトに電子ブックストアのリストが掲載されています。

Q5 どんな端末で読めるの?

パソコン、タブレット、スマートフォンなど。同一のアカウントを利用して、複数の端末にダウンロードすることができます。固定レイアウトで作成されているため、大きいディスプレーを備えた端末で読むことに適しています。

※価格、発売日、対応する端末やOS、ファイル保存期間などは、ご購入いただく電子ブックストアによって条件が異なる場合があります。詳細は各ストアでご確認ください。

- ●ハイライトや検索、辞書の参照、引用などの機能は使用できません。
- ●紙の雑誌と併読いただいた場合の特典、「システムKAZI」との連携などはありません。
- ●お申し込み、お支払いは各電子ブックストアにてお願いします。舵社では受け付けていません。

舵社 販売部
TEL:03-3434-4531
FAX:03-3434-5860
http://www.kazi.co.jp/

JSAF2020選手強化パートナー

ONE OCEAN NETWORK EXPRESS
SEIKO
TOMOE 巴工業株式会社
JAL JAPAN AIRLINES
45°
YBC ヤマザキビスケット
伊藤超短波株式会社
GLCOM
GTI クロアツアーズ
H/H
J-Will Group
zhik
医療法人社団 天宣会
NAKAMURA
NORTH SAILS
株式会社丸玉運送
MIZUNO
ラジエ工業(株)

環境キャンペーン協賛社

JFE
YANMAR

外洋キャンペーン協賛社

TAFCO

2020年JSAF賛助会員

ABeam Consulting
SPN Security Protection Network
Benesse
YAMAHA
Kazi
日建リース工業株式会社
一般社団法人 日本マリーナビーチ協会 Japan Marina & Beach Association
Performance Sailcraft Japan
BASIC
Marine Service KOJIMA
YANMAR
MS&AD あいおいニッセイ同和損保
SPICE S&B HERB
SEE@SEA
GTI クロアツアーズ
SEINO DB SCHENKER Schenker-Seino Co., Ltd.
SAILFAST
人と地球環境の未来へ Zeniya
損保ジャパン日本興亜
miki HOUSE
CHIGASAKI TSUJIDO
TMS トヨタ自動車東日本
テクノヒル株式会社 TECHNOHILL
TOYOTA 豊田自動織機
NittoBest
公益財団法人 日本海事広報協会 海の日
NORTH SAILS
PERFECT RISK FOLLOW
MIZUNO
MARIN PLACE TOKYO SUPPORT FOR SAILING
株式会社 宅配
ABURATSUBO YACHT HARBOR MISAKI MARINE
ヤマトグローバルロジスティクスジャパン
スバル興業(株) 東京夢の島マリーナ
LAGUNA MARINA
RIVIERA RESORT

J-SAILING JAPAN SAILING FEDERATION
NO.115

2019年度版YEAR BOOKをお届けいたします。今年はいよいよオリンピック本番です。代表選手たちには思いっきりパフォーマンスを発揮してほしいものです。また、2024年オリンピックにはクルーザー種目が登場する動きもあります。クルーザーとディンギーのシームレス化にいっそうの拍車がかかるでしょう。さまざまな新しい息吹がセーリング界にも訪れています。今年度も安全なセーリングをお楽しみください。

J-SAILING No.115
2020年3月30日発行　通巻469号
発行／公益財団法人日本セーリング連盟広報委員会
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2
JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9階 902号室
電話　03-6447-4881　ファクス　03-6447-4882
E-MAIL head@jsaf.or.jp
発行人／河野博文　編集人／柳澤康信
エディター／豊崎謙　デザイナー／松岡雅子
定価／300円(JSAF会員は会費に購読料が含まれています)
www.jsaf.or.jp/hp

表紙／Hempel World Cup Series Enoshima Round 2019 © JUNICHI HIRAI / BULKHEAD magazine JAPAN(写真上)、Kazi(写真下・日本-パラオ親善ヨットレース)

“魔王の宮殿”
宮古島 日本

珊瑚礁にあいた細く暗い竪穴をゆっくりと進むと、「魔王の宮殿」と呼ばれる広い空間が目の前に開ける。天井からそそぐ光が幻想的だ。未知への挑戦と探求をやめないその情熱に。

SEIKO
SINCE 1881

セイコー プロスペックス SBDC083 85,000円+税 メーカー希望小売価格 自動巻 0120-061-012（9:30~17:30、土日祝日を除く） www.seikowatches.com セイコーウオッチ株式会社

YBC

いつでもおいしい
ルヴァン プライム。

ヤマザキビスケット

2020年3月30日発行　通巻469号
J-SAILING
JAPAN SAILING FEDERATION
定価300円
NO.115